



町の未来が見えてくる  
議会だより

# いの

第78号

3月(第1回)定例会  
令和6年4月18日発行



●主な内容

令和6年第1回定例会

P 2 いの町水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例議案

P 4 令和6年度いの町一般会計予算議定に関する議案

P 5 令和6年度いの町病院事業会計予算議定に関する議案

P 7 常任委員会・特別委員会の活動報告

P 8 議案などの賛否一覧表

P 10 一般質問(議員14人が町政を問う)

※本文がUD(ユニバーサルデザイン)フォントに変わりました

お別れ会でお祝いの言葉を送る  
にじ・ひかり組(伊野幼稚園)

3月4日～18日

# 令和6年 第1回定例会

議案48件・報告4件が執行部から提出され、原案通り可決した。  
ほかに発議が4件提出され可決された。

## 注目の議案・発議

### 令和5年度一般会計補正予算(第7号)

- ・歳入歳出それぞれ350万円を追加し、累計予算総額145億3,790万円とするもの

### 令和5年度一般会計補正予算(第8号)

- ・歳入歳出それぞれ9,480万円を減額し、累計予算総額144億4,310万円とするもの

### 令和6年度一般会計予算

- ・歳入歳出それぞれ146億2,670万円とするもので、対前年比9.04%、12億1,300万円の増額となっている

### 指定管理者の指定

- ・木の根ふれあいの森に係る指定管理者の指定
- ・桑瀬寒風茶屋に係る指定管理者の指定

### 発議(議員提出)

- ・教員の長時間過密労働を解消し、子どもの学習権を保障するための教員増を求める意見書
- ・2024年4月からの障がい福祉サービス報酬単価の見直しを求める意見書
- ・いの町長池田牧子に対する問責決議案

## 質疑・討論

□令和6年第一回定例会

(議案第4号)

水上オートバイ等の安全  
利用促進

通報はどのように

問 山田議員

水上オートバイが、禁止  
区域で使用されていた場合  
の通報の方法は。

答 尾崎土木課長

役場もしくは、警察に連  
絡を願う。役場閉庁時には、  
宿直へ連絡を願う。

(議案第8号)

介護保険条例の一部改正

保険料増は理解されるか

問 山岡(勉)議員

この改正は、9段階の保険料段階を13段階に改め、高所得者への負担増、低所得者は軽減するものだが、保険料は一人ひとりに賦課され家計への負担も大きい。

**答** 松本町民課長

10段階以上の方は、令和5年度よりも保険料が上がる。

増税分は、低所得者の減額分にまわる形になる。改定内容をご理解いただけるよう、しっかりと広報し説明していきたい。

**保険料が高くなる見込みは**

**問** 池沢議員

政令の改正は、具体的にどのようなものか。

**答** 松本町民課長

これまで9段階のものを13段階にするものだ。こ

のことににより、高所得者(320万円以上)357人の保険料が上がる見込みだ。1、3段階の保険料をさらに引き下げていくものだ。13段階以上をつくることも可能だが、介護保険特別会計の財政調整基金を取り崩すことにより、介護保険料を安くするということもあり、13段階とした。

**(議案第9号)**

**グリーン・パークほどの施設などの料金改定**

**利用料などの値上げについて**

**問** 山田議員

施設利用料などの値上げはホームページなどで周知すると考えるが、値上げの根拠をどう納得してもらうのか。

**答** 野田吾北総合支所次長

金額の上限の設定については、近隣の類似するキャ

ンプ場などと比較した。結果、適切である金額にしようとしている。

設備、施設を比較して、適切な金額であると判断してもらえよう周知する。

**問** 山田議員

リピーターにはどう説明するか。

**答** 野田吾北総合支所次長

空調設備の整ったバンガロー3棟も新しくできる。リピーターにもまた訪れたいと思われるよう訴求する。

**(議案第17号)**

**町指定居宅介護支援事業者指定に必要な事項・事業人員・運営の基準**

**介護現場の改善を**

**問** 池沢議員

改正による介護事業所のメリット、デメリットは。

**答** 金子ほけん福祉課長

メリットは、介護人材の有効活用だ。デメリットは、改正による事務の発生で多忙となる面もあるが、報酬などに反映される。

**(議案第18号)**

**令和5年度一般会計補正予算(第8号)**

**普通交付税の推移**

**問** 山岡(勉)議員

7859万9000円の増額補正で、累計49億7720万2000円となった。令和5年度の決算額と理解していいか。

**答** 土居総務課長

令和5年12月に追加交付を受けた。

49億7720万2000円が、令和5年度の決算見込みとなる。

**企業版ふるさと納税寄付金について**

**問** 山田議員

企業版ふるさと納税寄付金が、昨年予算より60万円下がっているがなぜか。

**答** 筒井総合政策課長

令和4年度実績に合わせ、令和5年度当初予算を1000万円としていたが、400万円の実績であったため。

**大規模盛土第2次スクリーニング調査について**

**問** 山田議員

大規模盛土第2次スクリーニング調査についての補正の説明を。

**答** 尾崎土木課長

当初想定していた地質調査により土質区分が固いものが出たこと、ボーリング調査後の水観測を8月の出水期に行う必要があり、そのための増額だ。

令和6年度一般会計予算

特定地域づくり事業  
協同組合

在予定はないが、事業量、人員関係で必要あれば検討する。

令和6年度の大規模盛土第2次スクリーニング調査について

問 井上(敏)議員

この事業協同組合の運営には、派遣職種に制約があった。法人組織を設立しても幅広い派遣先がなければ、人材を雇用しても運営が困難となるのではないか。

問 山田議員

令和6年度の大規模盛土第2次スクリーニング調査についての計画は。

答 尾崎土木課長

令和4年度の第2次スクリーニング計画での現地調査などに基づき、詳細な地盤調査や安定計算など行うことにより天王地区住宅地の安全性の把握を行うもので、令和6年度は天王公園から天王南6丁目、同8丁目付近の調査を行う。

答 筒井総合政策課長

派遣業種は、建設業の土木作業などは現在のところ、法的に禁止されるなど制約がある。

法人組織の編成は、複数の発起人を指すため、商工会などを通じ事前にアンケートを行い、この制度に関心を寄せる法人へ、組合への参加を求めていく。

組合組織の広域化は、現

予算案で防災対策費は1億3986万円5000円で、対前年比2389万3000円の減となっている。

答 土居総務課長

その理由は、能登半島地震を受け、耐震化へのニーズの高まりは感じている。耐震設計・改修費は、対前年度5件分増で計上している。

あと、令和5年度からの繰越明許分などで、耐震対策促進事業に取り組んでいる。

一段と厳しさを増す財政状況

問 池沢議員

①町税(前年度より減額)の説明を。  
②枝川小学校トイレの洋式化は。

③各小学校の特別支援教育支援員数は。

④児童虐待対応706万2000円の内容は。

答 松本町民課長

①個人住民税は690万円、法人住民税は1235万円、固定資産税は220万円(他3000円)、軽自動車税環境性能割は50万円、たばこ税は300万円、水利地益税は1万5000円、以上の減収分と増加見込み分(軽自動車税、入湯税)を差し引いた結果1億436万8000円の減額見込みだ。

答 官協教育次長

②洋式化率20%弱、必要と判断した場合は、実施計画第10号に計上し計画的に整備する。  
③枝川小5人、伊野南小3人、伊野小5人、川内小1人。  
④子育て支援・相談業務などを行う会計年度職員を1人増員する。

る気がない。仁淀病院については、経営改革プランを立てないままに民間から経営破綻な状態にならしめ、この一般会計から5197万円基準外で出すことに至った。

財政調整基金の取り崩しは、これまで以上に慎重にすべきだ。取り崩しにより町独自の施策を展開するにも限度、限界がある。国・県からの補助金などの獲得にさらに力を入れるべきだ。

歳入の町税は減り、歳出の他会計への基準外繰出金が3億4581万5000円で、前年度より1億484万2000円増えている。

町民への説明責任を果たすべく議案審議に必要な説明資料などの改善を求め続けているが、応じてもらえてない。本庁舎総合案内業務は必要ない。

反対討論

池沢議員

「いの町財政計画」が必要だ。町長は、全く作

## 賛成討論

山岡（勉）議員

歳入の<sup>35.62</sup>%を占める地方交付税は、52億1000万円（うち普通交付税は、47億6000万円）の計上。

令和5年度決算見込みや令和6年度地方財政計画から適正な計上と判断する。

また、町税の減収は、国の定額減税分で、地方特例交付金で補填<sup>ほてん</sup>されている。

歳出は、太陽光発電補助事業や住宅断熱改修補助事業など、GX推進の取り組み、18歳までの医療費助成の拡充、中山間地域への介護サービス確保事業や緊急用ヘリ離着陸場整備、学校給食費軽減事業、防災力の強化に資する事業費等々、町内、2万千百数人の暮らしと生業を守り、地域の安心・安全に寄与する予算案と解して賛成する。

（議案第37号）

令和6年度介護保険特別会計予算

交付金減額か

問 山岡（勉）議員

歳入の保険者機能強化推進交付金は、372万2000円で対前年比96万6000円の減。

自立支援・重度化防止への取り組み定着をもって減額が加速される懸念は。

答 金子ほけん福祉課長

この交付金は、令和5年度に続いて減額となった。令和7年度も減額されるのではないかと懸念しているが、これで、町の介護予防や自立支援に向けた取り組みが後退することはないと考えている。

（議案第38号）

令和6年度特別養護老人ホーム特別会計予算

介護士は、足りているか

問 池沢議員

①介護士人数の不足は、ないか。

②一般会計からの基準外繰り出しはいくらか。令和5年度と比較してどうなっているか。

答 中島借楽荘所長

①正職員24人、会計年度職員19人で不足なし。  
②980万1000円で、令和5年度より112万8000円減っている。

（議案第42号）

令和6年度病院事業会計予算

気づくのが遅すぎる

問 池沢議員

①実際に一般会計から基準外繰り出しをしないと当初予算が、組めないと感じていたのはいつか。

②補正予算なしで職員給与

を全額支払える予算となっているか。

答 池田町長

①今年1月の査定で分かった。

答 水田副町長

②職員給与などについては、年間分を加味しており、医療収益・支出を含めトータルで賄えると考えている。

## 反対討論

池沢議員

「令和6年度当初予算を編成上、一般会計からの補助金を充当していかなければ、予算編成ができないのが現状だ」と行政報告があった。副町長は「いの町立仁淀病院が公営企業会計であることに、あぐらをかいていた」と発言し、町長は、この発言を擁護した。キャッシュフロー計

算書で資金期首残高は3382万円、資金期末残高は0円だ。民間なら経営破綻の状態だ。一般会計予算からの補助金（基準外繰り出し）5197万円については、違法性がないとしても本来独立採算性であるいの町立仁淀病院へ、入れることは、町全体からして不公平であり、反対する。



# 議員発議案

## 意見書と決議

### (発議第1号)

訪問介護報酬の引き下げ  
撤回を求める意見書

### (発議第2号)

教員の長時間労働を解消し、  
子どもの学習権を保障するため  
教員増を求める意見書

提出者 山崎 きよ  
賛成者 森 みきお

### 【提出の理由】(原文)

全国では教員不足により始業日に先生がいない事態や産・育休、病気休職の代替教員が配置されないなど、教育活動に支障を来す事態が生じている。これらの教員不足は、学校現場の長時間労働などの厳しい労働環境が解消されないことによる教職志願者の減少が

大きく影響している。教員の長時間労働を解消するに

は、正規教員の増員が必要である。よって、国に対し、学校の業務量に見合った教員配置にするため、定数法(義務標準法・高校標準法)の改善を求める。

### (発議第3号)

2024年4月からの障  
がい福祉サービス報酬単  
価の見直しを求める意見  
書

提出者 山崎 きよ  
賛成者 山本 荘一郎

### 【提出の理由】(原文)

2024年2月、厚生労働省は「令和6年度障害福祉サービス等報酬改定(案)」を公表した。それによると、例えば就労継続支援B型では平均工賃1万5000円未満の事業所がすべて減額される内容となっている。高知県では就労継続支援B型事業所の25%の事業所が減額となってしまう。よって政府に対して「障害福祉サービス等報酬改定(案)」の

見直しを強く求める。

### (発議第4号)

いの町長池田牧子に対する  
問責決議案

提出者 山田 卓彦  
賛成者 森本 節子  
同 福井 英人  
同 浜田 孝男  
同 筒井 一水  
同 山岡 寿  
同 井上 正臣  
同 藤崎 憲裕  
同 池沢のりこ

### 【提出の理由】(原文)

いの町長池田牧子は、令和6年度仁淀病院の予算編成ができない事や、仁淀病院医師のパワハラ問題など重大事案を確認しているにも関わらず、令和6年第一回の町議会定例会開催までの町議会・仁淀病院運営特別委員会に報告されず、議会軽視であると判断し、問責決議案を提出する。

### 反対討論

井上(敏) 議員

基準外繰り出しや医師のパワハラ事件で、新聞に大きく掲載された。この一連の問題に対し、執行部の対応に疑義があったことは否めない。だが、病院が経営困難になったのは、議員の執拗な批判が、院長及び医師の大量退職事件になったことが原点であることから、問責決議案を提出せずに今後の議会・委員会などで、執行部の対応を指摘する方法もある。問責決議となれば新聞に大きく報道される。そうなる医学部から混乱する病院への、医師派遣や黒字化にも暗雲が立ちこめる。追及はしても病院を破綻に追い込んではいけません。議員も執行部も共に協力すべきでないか。批判だけでは運営はままならない。

### 賛成討論

福井議員

令和6年度仁淀病院当初予算について直ちに、緊急案件とし、議会に報告すべきだった。そして、2月26日開催の仁淀病院運営特別委員会にも全く報告はなく、行政報告により、この非常事態を知ることとなる。病院経営で次年度の予算が立てられなければ、多くの患者にも関係してくる、重大な案件だ。この議会軽視により、地方自治体の信頼を著しく損ね、町民に対して医療に関する大きな不安を与えた。この動議に賛成しなければ他の特別委員会、各常任委員会の委員や、その委員会を通して、町民に説明責任を果たそうと努めている、各課の職員に対しても大変失礼だ。よって仁淀病院運営特別委員会の委員として、賛成すべきと判断した。

# 常任委員会・特別委員会の活動報告

## 建設産経常任委員会

□2月1日

議題

- ① いの町水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する検討について
- ② いの町有害鳥獣捕獲報償金について
- ③ いの町農業経営収入保険加入促進事業について
- ④ 土佐和紙工芸村滞在型観光施設改修工事について
- ⑤ その他建設産経常任委員会運営に係る協議事項の件

借楽荘の給食について

- ② その他民生環境常任委員会に係る運営事項協議の件

執行部から説明を受けた後、質疑応答を実施。

## 総務文教常任委員会

□2月27日

議題

- ① 令和4年度教育委員会自己点検・外部評価について
- ② あいの保育園改築事業について
- ③ 「いの町教育振興基本計画」及び「令和の教育ビジョン（6年度版）」について
- ④ 中央圏域における広域避難について
- ⑤ いの町消防団三瀬分団の再編成について
- ⑥ いの町消防団三瀬分団勝賀瀬班消防屯所整備事業

業について

- ⑦ いの町消防団川内分団大内部分防屯所整備事業について
- ⑧ いの町消防団本川方面隊第3分団屯所改修工事について
- ⑨ 特定地域づくり事業協同組合について

執行部から説明を受けた後、質疑応答を実施。

## 水資源対策特別委員会

□1月16日

議題

- ① 水資源対策特別会計からの浄化槽整備事業に対する繰入金について
- ② 水資源対策特別委員会運営に係る協議事項の件

執行部から説明を受けた後、質疑応答を実施。

## 仁淀病院運営特別委員会

□2月26日

議題

- ① いの町病院事業の診療体制について
- ② 仁淀病院経営強化プランについて
- ③ 介護医療院への転換事業の状況について
- ④ 患者満足度アンケートの結果について
- ⑤ その他仁淀病院運営特別委員会に係る運営事項協議の件

執行部から説明を受けた後、質疑応答を実施。

インターネット中継 <http://www.town.ino.kochi.jp/chosei/gikai/index.html>

ライブ配信



配信されている映像・音声は、いの町議会の公式記録ではありません。会議日程は「会期日程案」をご覧ください。

ライブ配信



配信されている映像・音声は、いの町議会の公式記録ではありません。会議日程は「会期日程案」をご覧ください。

# 令和6年第1回定例会(3月)で議決された議案などの賛否一覧表

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 棄：棄権 △：議長 ☆：除斥

## ●賛否の分かれた議案

		井上敏雄	伊東ひさたけ	山崎きよ	山岡勉	浜田孝男	福井英人	山田卓彦	山岡寿	井上正臣	山本莊一郎	大原りえ	森みきお	高橋幸十郎	筒井一水	森本せつこ	池沢のりこ	藤崎憲裕	筒井公二	可否	
議案第30号	令和5年度いの町病院事業会計補正予算(第4号)議定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	△	可	
議案第31号	令和6年度いの町一般会計予算議定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	△	可
議案第42号	令和6年度いの町病院事業会計予算議定に関する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	△	可
発議第4号	いの町長 池田牧子に対する問責決議案	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	△	可

## ●全会一致の議案

議案第1号	令和5年度いの町一般会計補正予算(第7号)の専決処分の報告及び承認に関する議案	可
議案第2号	いの町手数料条例の一部を改正する条例の専決処分の報告及び承認に関する議案	可
議案第3号	督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備等に関する条例議案	可
議案第4号	いの町水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例議案	可
議案第5号	いの町監査委員条例等の一部を改正する条例議案	可
議案第6号	いの町職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例議案	可
議案第7号	いの町本川国民健康保険診療所勤務医師給与支給条例の一部を改正する条例議案	可
議案第8号	いの町介護保険条例の一部を改正する条例議案	可
議案第9号	グリーン・パークほどの施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例議案	可
議案第10号	いの町水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例議案	可
議案第11号	いの町水道事業給水条例の一部を改正する条例議案	可
議案第12号	土佐和紙工芸村農林漁業体験実習館(和紙体験実習館)・伝統家屋移築施設(和田邸・高野邸・大原邸・蔵)の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例議案	可
議案第13号	いの町本川直販所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例議案	可
議案第14号	いの町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例議案	可
議案第15号	いの町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例議案	可
議案第16号	いの町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例議案	可
議案第17号	いの町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例議案	可
議案第18号	令和5年度いの町一般会計補正予算(第8号)議定に関する議案	可
議案第19号	令和5年度いの町水資源対策特別会計補正予算(第1号)議定に関する議案	可
議案第20号	令和5年度いの町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)議定に関する議案	可



議案第21号	令和5年度いの町国民健康保険特別会計（直診勘定）補正予算（第2号）議定に関する議案	可
議案第22号	令和5年度いの町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）議定に関する議案	可
議案第23号	令和5年度いの町介護保険特別会計補正予算（第3号）議定に関する議案	可
議案第24号	令和5年度いの町特別養護老人ホーム特別会計補正予算（第3号）議定に関する議案	可
議案第25号	令和5年度いの町下水道事業特別会計補正予算（第3号）議定に関する議案	可
議案第26号	令和5年度いの町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）議定に関する議案	可
議案第27号	令和5年度いの町天王地区汚水処理施設事業特別会計補正予算（第3号）議定に関する議案	可
議案第28号	令和5年度いの町再生可能エネルギー事業特別会計補正予算（第2号）議定に関する議案	可
議案第29号	令和5年度いの町水道事業会計補正予算（第3号）議定に関する議案	可
議案第32号	令和6年度いの町水資源対策特別会計予算議定に関する議案	可
議案第33号	令和6年度いの町墓地公園事業特別会計予算議定に関する議案	可
議案第34号	令和6年度いの町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算議定に関する議案	可
議案第35号	令和6年度いの町国民健康保険特別会計（直診勘定）予算議定に関する議案	可
議案第36号	令和6年度いの町後期高齢者医療特別会計予算議定に関する議案	可
議案第37号	令和6年度いの町介護保険特別会計予算議定に関する議案	可
議案第38号	令和6年度いの町特別養護老人ホーム特別会計予算議定に関する議案	可
議案第39号	令和6年度いの町再生可能エネルギー事業特別会計予算議定に関する議案	可
議案第40号	令和6年度いの町水道事業会計予算議定に関する議案	可
議案第41号	令和6年度いの町下水道事業会計予算議定に関する議案	可
議案第43号	令和4年度林道約束田線地すべり災害復旧工事の請負契約の一部を変更する契約の締結に関する議案	可
議案第44号	令和5年度日比原橋上部工架替工事の請負契約の締結に関する議案	可
議案第45号	木の根ふれあいの森に係る指定管理者の指定に関する議案	可
議案第46号	桑瀬寒風茶屋に係る指定管理者の指定に関する議案	可
議案第47号	町道の路線認定に関する議案	可
議案第48号	いの町辺地総合整備計画の策定に関する議案	可
発議第1号	訪問介護報酬の引き下げ撤回を求める意見書	可
発議第2号	教員の長時間過密労働を解消し、子どもの学習権を保障するため教員増を求める意見書	可
発議第3号	2024年4月からの障がい福祉サービス報酬単価の見直しを求める意見書	可

## 議 会 日 誌

1月5日(金) 議会広報特別委員会	2月20日(火) 高知県町村長・議会議長大会、意見交換会(高知市)
11日(木) 議会広報特別委員会	
16日(火) 水資源対策特別委員会	26日(月) 仁淀病院運営特別委員会
17日(水) 議会広報特別委員会	27日(火) 総務文教常任委員会
	29日(木) 議会運営委員会
2月1日(木) 建設産経常任委員会	” 議員互助会
15日(木) 仁淀川下流衛生事務組合議会 第1回定例会	3月4日(月)~18日(月) 令和6年第1回定例会
” 高知中央西部焼却処理事務組合 議会第1回定例会	25日(月) 仁淀消防組合議会第1回定例会
16日(金) 民生環境常任委員会	28日(木) 議会広報特別委員会
20日(火) 第75回高知県町村議会議長会 定期総会(高知市)	

## 天王污水处理施設、音竹浄水苑への統合 事業について

質問Ⅱ今後の見通しについて  
答弁Ⅱ令和6年度中には全ての工事が完了予定



藤崎 憲裕 議員

令和4年12月議会にて質問した統合事業については、令和4年度から工事に着手、圧送管の布設や天王污水处理施設内の改築などを順次実施し、令和6年4月からの供用開始を目指すという聞いていた。

川村上下水道課長  
天王污水处理施設の浄水苑への統合事業については、令和4年度より工事に

着手し、令和6年4月から供用開始を目指し、これまでに圧送管の布設全区間2579m、污水圧送にかかる人孔の設置1基が完了した。

現在の状況としては、天王污水处理場内の自動スクリーン、流出ゲートなどの機器類及び污水圧送にかかる水中污水ポンプの設置を行う機械器具設置工事と、污水处理場内及び污水圧送にかかるマンホールポンプ制御盤、引込開閉電気盤などの計装設備の整備を行う電気工事の計2件を発注している。

しかしながら、全国的な電線・ケーブル類の不足や機器類の製作に不測の日数を要したことから、令和6年3月末までの完成は困難な状況となっており、現在のところ9月末まで工期を延期する予定である。

今後については、残りの

天王污水处理場内の機器類の撤去及び污水貯留槽の改築などの工事を発注し、また現在発注済みの工事を進め、令和6年9月末からの浄水苑での污水处理開始を目指し、事業を進めていく。

なお、天王污水处理場内の機器撤去などの一部工事については、浄水苑での污水处理開始後にしか着手できないため、工事は引き続き実施するが、令和6年度中には天王地区の伊野浄水苑への統合に係る全ての工事が完了する予定である。



天王地区污水处理場



音竹浄水苑

## 仁淀病院運営

質問Ⅱ町の、今の体制では、再度課題が生じるのでは  
答弁Ⅱ組織など、再度チェックしながら取り組む



山田 卓彦 議員

会定例会初日の行政報告で、仁淀病院の令和6年度の予算が組めない旨の報告があり、翌令和6年3月5日高知新聞に、一般会計から病院事業会計へ5197万円基準外繰り出しを決めたという記事が掲載された。

今議会中の副町長答弁で、事態を把握したのが令和6年1月と聞いた。なぜ事前に議会・仁淀病院運営特別委員会への報告がなかったか。

地域医療の要として長らく、大変お世話になった天王診療所が閉院となった。仁淀病院・町は、地域医療構想に基づきどのような対応を考えているか。

### 水田副町長

ホームページについては直近の内容に更新し、今後は担当者と複数の職員で確認、データ更新する。

事務長補佐は一身上都合による退職だ。事務体制

全般について、速やかに体制を整える。

令和6年度より内科1人、外科1人の常勤医が就任。すぐには難しいが、不在の常勤整形外科医師を迎えると、入院患者、診療単価が増加すると考える。

基準外繰り出しの報告をしなかったのは、これまでの仁淀病院運営特別委員会報告に準じた。今後は、経営状況を含めて報告する。

天王診療所の閉院にともない、公立病院である仁淀病院が受け皿となり住民の医療提供を行っていかねばならないと考える。

### 山田議員

ホームページの更新を長期間していないのはなぜか、と聞いているが。

事務長・事務長補佐に関しては、当人たちの都合だけではないのではないかと聞いているが。

天王診療所閉院に伴い、具体的に何をしていくのか。

### 水田副町長

担当者一人に任せてい

て、複数人での確認作業ができていなかったのが更新不備の原因だ。

事務長についてどう考えるかだが、それぞれの心情、思いが出ていたので答弁は差し控える。

公立病院として受け皿となるよう具体策として、天王地区などの人の移動手段などについて検討している。

### 山田議員

事務長・事務長補佐に關しては、町として、任命した側としての考えを聞いているが。

仁淀病院運営特別委員会に対しての報告が前例を踏襲したため抜かってしまったとの答弁だが、大変重要なことだと考えなかったのか。

一連の流れ、事象が生じた今の体制のままでは、今後も何か起きるのではないかと。

### 水田副町長

任命権者として、風通しの良い職場環境、働きやすい職場環境を含め、職場改善についてもう少し掘り下

げていく。

前例主義もそうだが、病院任せにしていたことも一定ある。もう少し掘り下げの必要があった。

今後は、課題があれば速やかに改善を諮っていく。「チェック体制」「担当者任せ」「組織」について、再度チェックをかけながら抜からないよう取り組む。



仁淀病院全景

### その他の質問事項

- ・ 学校施設の安全性
- ・ 大規模盛土造成地スクリーニングについて
- ・ 観光地マネジメント
- ・ 地域経済活性化
- ・ キャッシュレス化
- ・ 待機児童の解消

## 大災害と急性期支援

質問Ⅱ避難所での受け入れ体制が重要では  
答弁Ⅱ避難所運営訓練を実施する予定



福井 英人議員

自治体の要請を待たずに、国が迅速に調達・輸送し、被災地に届ける「プッシュ型支援」がある。避難所での支援物資の受け取り体制と、管理業務が重要では。

### 土居総務課長

「いの町物資配送計画」の策定や、国と自治体間で物資情報を共有している「物資調達・輸送調整等支援システム」を通じた情報伝達訓練を毎年実施している。

大規模災害など想定を超える被災の状況下で、国は被災自治体から具体的な要

請を待つとまがないと判断した場合には、食料や毛布など生活環境に不可欠な物資8品目を調達し、発災後4日目以降に被災自治体に緊急輸送する、プッシュ型支援を実施する。

プッシュ型支援など、全国から届く支援物資の受け入れ体制や手順の確認を、平時より実施しておく必要がある。

令和6年度に、避難所運営マニュアルを活用した避難所運営訓練を実施する予定だ。

### 福井議員

DMAATとDPATの活動内容と、災害拠点病院としての取り組みは。

### 金子ほけん福祉課長

DMAATは、災害発生直後の急性期に被災地に入り、緊急治療や病院支援などをを行う医療チームだ。

DPATは、急性期から数か月と長期にわたり、精神的支援、福祉活動を行い、避難所や被災地区においてカウンセリングや心のケアにもあたる。

### 水田副町長

令和5年、9月の内閣府主催の令和5年度大規模地震時医療活動訓練に、仁淀

## 中学校の部活動のあり方

質問Ⅱ今後の見通しは  
答弁Ⅱ早急な地域移行の実現は困難だ

### 福井議員

子どもファーストを念頭に、あらゆる機関や場面で協議を重ねている状況下、合同チーム方式、拠点校方式、そして地域移行の今後の見通しは。

### 黒瀬教育長

合同チーム方式は、他校とチームを組み交流することで、仲間意識やコミュニケーション能力が高まるが、合同での練習場所や時間、移動方法が課題だ。拠点校方式は、拠点校の

病院は災害拠点病院として、DMAAT隊員11人を含む職員30人で参加した。今回の訓練で、医師の数が追いついていないことが判明し、その医師数に応じたの受け入れ体制を展開する基準を設けた。今後も同様の訓練を行い、有事の体制を整え、災害拠点病院として役割を果たす。

顧問の学校間や競技団体との連絡調整、他校生徒への指導による負担増加、そして教員の人事異動に伴う指導者の継続的な確保など、検討課題が多く残っている。

また、地域連携を進める上で、部活動指導員は、欠くことができない大切な人材だ。

町として教員の働き方改革を考慮すると、部活動の地域移行の必要性は感じるが、受け皿である団体や、指導者の確保など課題が多

く、早急に地域移行を実現するのは困難だ。令和7年度までの改革推進期間では「いの町部活動検討委員会」を定期的に開催し、実現可能な取り組みから随時実施する。

## 地方公営企業法 第17条の2

### 福井議員

令和6年度仁淀病院の、当初予算への繰出金額5197万円は、地方公営企業法第17条の2に反していないか。また、繰り出し決定の指標は。

### 水田副町長

公立病院を含む地方公営企業は、原則は独立採算だ。しかし、基準外繰り出しを実施しなければ、予算作成ができず仕方がない処置だ。また、繰り出し決定の指標は、病院経営に支障が出ないように行うことが基本だ。

# 国民健康保険の保険料統一

質問Ⅱ 2030年度の統一に向け保険料はどうなる  
答弁Ⅱ 県の推計税率を基に税率改正していく



山崎 きよ 議員

国民健康保険の保険料統一に向けて、町の保険料はどうなるのか。

## 松本町民課長

令和5年度に県が示した推計税率が、町の税率より高いものとなっている。

令和12年度の保険料水準統一に向け、どこかのタイミングで国保税の引き上げは必要であるが、住民の急激な負担増にならないよう、財政調整基金も活用しながら、効率的かつ効果的な財政運営を進める。

## 山崎議員

今以上国保税が上げられ、町民の負担感は大きくなる。県の会議で、どのような意見を言っているのか。

## 松本町民課長

統一後の国保税が上がるのは34市町村の首長と県の合意の上で決まっている。その中で、町も幹事となっている国保事業運営検討協議会で、令和8年度の間に見直しに向けて、税率をどうやって下げていくかの議論を現在、集中的に行っている。

## 保育士の配置基準の改善

## 山崎議員

保育士の配置基準が改善された。4・5歳児については30対1を25対1に、1

歳児については6対1を5対1に改善するとした。この基準に沿う方向で、保育士を配置しないか。

## 宮脇教育次長

3歳児及び4・5歳児の配置基準改正は令和6年4月1日に施行される。

町内保育施設は、3歳児、4・5歳児とも対象の園があるが、現在においても改善後の基準を満たしている。

令和7年度に改正が予測される1歳児の配置基準は、免許を所持しない保育補助者の配置を免許所持者に変更するなどの対応が必要となってくるため、保育士の増員を検討する必要がある。

## Uターン移住推進

## 山崎議員

Uターン移住者は地元に着てもあり、帰れば親の家や土地もあることからスムーズに移住・定住することができると期待している。

これまでのIUターン施策に加えUターン者に上乗せ支援はどうか。

## 筒井総合政策課長

令和4年度にUターン者の引越越し費用に補助金を創設し活用があった。

令和6年度からは内容を拡充し、Uターン奨励金として、町内で住居を新築もしくは購入し、親世帯と同じくは購入し、親世帯と同じくは近居する場合は一律20万円、同居・近居以外で住居を新築・購入した場合は一律10万円、引越越しし、親世帯と同居・近居の場合は引越越し費用の10/10、上限20万円まで交付するよう考えている。

## 防災井戸の設置

## 山崎議員

能登半島地震から2か月以上たっても断水が続いている。そんな中、井戸が目されている。

防災井戸の設置のペースを早めないか。



防災井戸 (八田)

## 土居総務課長

これまでも避難所や避難路など町内13か所に整備してきた。

今後さらに設置を進めるには、公共的に利用可能な井戸や、防災用井戸としての設置が可能な場所などの情報が必要のため、自主防災会などに周知を行い、少しでも多くの地区で設置ができるよう取り組む。

## その他の質問事項

- 産休・育休などの代替教員の前倒し配置
- 特種詐欺防止対策
- 災害用トイレトレーラーの導入

## 空からの物資搬送訓練

質問Ⅱヘリポート基地を活用した訓練は  
答弁Ⅱ災害時を想定した物資搬送訓練を行う



伊東 ひさたけ 議員

大災害が発生となれば空からの物資搬送は重要な手段となる。

南海トラフ地震を想定し、自主防と協議を行いヘリポート基地を活用した物資搬送訓練はできないか。

### 池田町長

令和元年以降ヘリポート基地を活用した訓練実績は、令和3年11月7日の越裏門地区と令和6年3月2日の中追地区の2件で、ヘリコプターを用い支援物資搬送訓練を行っている。今後、災害時を想定した物

資搬送災害時を想定した物資搬送訓練を関係機関、地域住民と連携し行う。

### 耐震補強の取り組みと 起震車での体験実施

#### 伊東議員

本川地区での、耐震補強の現状は、少ないと思っっている。起震車を用いた揺れた体験を行うことにより、耐震補強の重要性が増すのではないかと。起震車での揺れ体験を実施できないか。

#### 池田町長

令和5年度の耐震改修事業の実績は、45件。(本川地区1件、吾北地区10件、伊野地区34件。)なお、本川地区過去3か年の年平均は1件である。  
起震車は、地震の恐ろしさを体験することができ防災対策と耐震改修への関心

を高められる良いきっかけになる。県や自主防災組織と連携し、実施に向けた検討を行う。

起震車の活用と合わせて自主防災会や一人暮らしの高齢者訪問、その他、地域の人々が集まる機会をとらえて、耐震診断・耐震改修事業の周知・促進を図り、住民の生命及び財産を守る取り組みを進める。

### UFOラインの 渋滞解消

#### 伊東議員

毎年、秋の紅葉シーズンは、車両が渋滞し、動きづらい現象が続いている。

イメージ回復のために、シーズン期間だけ、土日祝日で、一方通行時間規制を実施できないか。

#### 池田町長

一方通行規制は、交通事故減少につながる有効な手段の1つだと考える。  
本川地区石鎚山系事業連携協議会でも、一方通行規

制、協力金制度の導入など、さまざまな案がある。電気自動車への推進やデマンドバスなどの二次交通も含め一方通行規制は、交通事故減少のみならず石鎚山系の維持管理及び環境配慮の面で

も有効と考える。  
町単独の判断ではなく石鎚山系に関わるさまざまな組織が集まる場所で最善策を協議し、合意形成を図っていく必要がある。



中追地区物資搬送訓練

## 猫の不妊・去勢手術補助 質問Ⅱ補助額増加や補助対象数増加を 答弁Ⅱ補助対象数を1世帯2匹から5匹へ改正



大原 りえ 議員

### 濱田環境課長

寄付総額は目標額100万円に対し、195万8000円で、達成率196%。

「猫の不妊・去勢手術支援プロジェクト」のガバメントクラウドファンディングの寄付総額は、支援や関心が高いようなので、ふるさと納税での継続を考えては。

予算が令和5年度、40万円なのに対し、令和6年度は70万円と増えているものの、1匹当たりの補助額増加や、1世帯当たりの補助対象数増、または制限を無くすなどし、より多くの予算を用意した方がプロジェクトの趣旨に沿った活動になるのでは。

継続したい。



## 教育現場の 発達障害支援

### 大原議員

発達障害という言葉は当事者や保護者によっては抵抗を感じる。一方で診断を受け、長年の苦しみに答えが見つかりほっとするケースもある。捉え方は世代や症状、性格により大きく異なり、非常に複雑でデリケートである。教育現場での学習会、啓発活動は。

### 黒瀬教育長

町での、小・中学校合わせた自閉症・情緒障害特別支援学級の在籍数は平成26年度、7学級12人、令和5年度、14学級70人で約6倍

である。通常の学級に在籍する特別な教育支援を必要とする児童生徒は、県全体で令和5年度は2956人で全体の約7%を占める。

年々増加する現状にあって、保育士や教員一人ひとりが発達障害により表出される言動や、適切な支援方法を理解するのは大変重要と認識している。

町内の園・学校では、特別支援教育に係るケース会議や園内・校内研修を年間通じて、計画的・継続的に実施している。

加えて、同地区の保育園と小・中学校の保育士と教員が、特別支援教育を専門に研究している大学教授を講師とした合同研修会を実施するなど、切れ目のない支援の重要性の学びを深めている。

しかし、このような学びが保護者や地域にしっかりと啓発・周知され、地域全体での理解が深まっているかといった点においては、まだまだ十分ではない。

今後も各園・学校の研修支援の継続とともに、園・

学校と協力し、保護者・地域への啓発に努める。

## 食品加工業継続支援 事業補助

### 大原議員

個別施設100万円、共同施設200万円の補助で、予算400万円の計上だが、予算を超えた場合は、また、共同施設の予定は。

### 尾崎産業経済課長

400万円の予算を超える場合は補正予算で対応。共同施設は令和3年5月31日以前から、自宅で漬物製造している地域住民が、公民館など（町所有施設）で、共同で漬物製造できるような場合を想定している。地域のグループなどから具体的に、共同での作業場所が必要との声が上がった際に、町による共同施設の整備を検討したい。

## その他の質問事項

- ・ 大人の発達障害
- ・ 学校給食について

## 仁淀病院は、公設民営化の声が 質問Ⅱ民間なら、経営破綻している状態だ 答弁Ⅱ民営化も選択肢の一つとし、改善に努める



池沢 のりこ 議員

① 医師の退職について、行政報告と新聞記事の医師が同一人物であるか、この議場で確認する必要があるほど不透明だ。

行政の透明性、説明責任は、隠蔽体質に陥ったのか。

② 仁淀病院は、必要だ。しかし「公設民営でいいのでは」と町民からの声がある。民間なら経営破綻の状況だが、どのように受け止めるのか。

③ 副町長の「あぐらをかいていた」発言についての見解は。

### 池田町長

① 行政報告の医師のことについては、個人情報にあたりたくないことを確認した。パワハラのごとは、別なので仁淀病院の収支のことを行政報告した。

② 公設民営は、選択肢の一つとして今後検討を行うものだと考えている。

③ 仁淀病院の経営・人事などに、思った成果が出されていない副町長としての反省の言葉だと思ふ。

### 池沢議員

仁淀病院経営強化プランは、池田町長になってしばらく作成されておらず、やっと令和6年1月に作成された。ただ、対象期間中の各年度の収支計画表に、一般会計からの基準外繰出金が記載されていないのは、なぜか。

### 池田町長

令和5年8月時点のものであり、基準外繰出金は入っていない。

### 池沢議員

現状にあった経営強化プランⅡ収支計画（一般会計からの基準外繰出金を入れた）の作成は。

### 池田町長

令和6年9月頃を予定。中間報告は行う。

## 児童会の待機児童0を

### 池沢議員

① 「令和6年度児童会の待機児童が、出るのでは」との不安の声がある。

② 一日でも早い待機児童解消に向けて取り組みは。

### 黒瀬教育長

① 令和6年3月1日時点で枝川小学校24人。その他の児童会は全て受け入れ可能。

② 枝川小学校第3の放課後児童クラブ新規開設に向け

て令和6年度に設計、令和7年度に工事を計画。場所は、旧給食室を改装予定。

## 消防の広域化について

### 池沢議員

消防の広域化について令和5年度は、高知県内15の消防組合本部長と県との会があり、令和6年度は、県内各市町村を回って県が説明予定。消防の広域化についての町長の考えは。

### 池田町長

現消防署所体制の維持や現場の到着に時間を要する地域への適切な人員配置など広域化することで消防力が低下しないよう意見を伝えていく。

## 大内消防屯所改築は

### 池沢議員

① 取得地をどう活用するか。  
② 今後のスケジュールは。

### 土居総務課長

① 消防団と協議していく。  
② 令和6年度に現位置での設計、令和7年度に着工予定。

## 「女性支援新法」について

### 池沢議員

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」（通称、女性支援新法）が、令和6年4月に施行される。町は、市町村基本計画を策定しないのか。

### 池田町長

性別に関係なく個性や能力が発揮できる社会を目指すために、いの町男女共同参画プランに織り込んでいく。

## その他の質問事項

- ・ 住民への説明責任は
- ・ 温暖化対策
- ・ 人事異動
- ・ 中長期健全財政運営
- ・ 特定地域づくり事業



## いの町合併20周年に向けて 質問Ⅱ記念事業の内容と予算は 答弁Ⅱ記念式典や祝賀会、町民提案型事業を実施



森本 節子 議員

広報3月号に「10月1日（火）合併20周年をお祝いする祝賀会を行う」と掲載されていた。また、本庁舎内には垂れ幕も飾られ気分を盛り上げている。記念事業の内容と予算は。

### 池田町長

いのホールを活用した記念式典ではこれまでの町の歩みをスライドショーで上映したり、関係団体の催し物を行うことで、心に残る、また未来へと歩みをつなげていける式典にしたいと考えている。特色ある記念事



業として町民提案型事業を50万円を補助上限に4件分、広報などで周知し、令和6年4月1日から募集を行う。

また、とんぼのめがねファミリー音楽祭などの音楽の流れるまちづくり事業を計画している。合併20周年という節目を未来へとつなげていく機会としてとらえ、町のさらなる発展を促進するための礎としたい。

### 筒井総合政策課長

全体の予算としては記念式典に113万3000円、要覧作成に214万5000円、町民提案型事業に経費を含め213万円などである。

## 子育て支援 産後ケア事業について

### 森本議員

利用できる施設と利用状況、今後の取り組みは。

### 金子ほけん福祉課長

利用できる施設はアウトリーチ型では、一般社団法人高知県助産師会、アニタ助産院、真弓助産院、小梅助産院、助産院はぐはぐの5か所で1月末時点で延べ16人が利用している。

ショートステイ型は、はぐあす、アニタ助産院、浅井産婦人科・内科の3か所で1月末利用者は延べ22人。

デイサービス型は、はぐあす、アニタ助産院、浅井産婦人科・内科、小梅助産院、助産院はぐはぐの5か所で1月末利用者は延べ66人となっている。

令和5年度、約4割の母子が利用している。今後においても妊娠前から切れ目ない支援を行う。

## 保育所手続きを スマホで

### 森本議員

アプリによる入園申請は。

### 宮脇教育次長

行政手続きのオンライン化は、アプリを導入することで利用しやすい環境が整う。今後は、国や県、他市町村の動向を注視する。

## 防災・減災について

### 森本議員

妊産婦・幼児向けの備蓄は。水やトイレの準備は十分か。

### 土居総務課長

災害時の避難所で、ミルク類や使い捨て哺乳瓶、生理用品、小児用おむつなど、妊産婦や乳幼児向けの備蓄品を積極的に整備しており、目標値に対して数は充足している。

防災用井戸は、川内小学校、天神集会所、神谷小中

学校といった町指定避難所など13か所。令和6年度も枝川地区の東浦公民館に整備する予定。

### 濱田環境課長

汚物は可燃ごみとして処理する。

### 尾崎管財契約課長

マンホールトイレの水は伊野小学校のプールの水を利用する。上水道、早稲川、旭町の井戸水、仁淀川の水も考えている。

## 奨学金返還支援事業

### 森本議員

要綱については。

### 筒井総合政策課長

町に在住、継続し10年以上定住する意思のある人が対象。年額上限は一般枠12万円、一般地域枠24万円、特別枠24万円、特別地域枠36万円。日本学生機構、県高等学校等奨学金、町奨学金資金貸付条例による。

## 人口減への対策

### 質問Ⅱ町の取り組みは 答弁Ⅱ生活環境の充実を図る



高橋 幸十郎 議員

人口の減少は、地方の自治体にとっても厳しく、それぞれ対応に取り組んでいる。町の政策を広く住民の納得を得て、共に事業の推進に取り組むことが大切である。

現状の取り組みと今後は。

#### 池田町長

中山間地域でのブロードバンド整備やデマンドタクシーなど公共交通の整備、生活環境の充実を図ってきた。ファミリー・サポート・

のひとつの形であり、地域の活性化につながっていくのでは。

#### 筒井総合政策課長

現在は町が個人住宅を借り上げて行う中間管理住宅整備事業、移住者が空き家バンクの物件を活用した場合に住宅改修補助事業を行っている。整備事業においては、仕様書の中でもできるかぎり町産材としていく。

今後も町の森林資源を活用していく。

新築の移住者用住宅については、現在整備していないが、移住者ニーズに合わせて、民間資金を活用したPFI事業も視野に入れ研究していく。

### 移住者への住宅整備は

#### 高橋議員

移住者への住宅の整備は、新築をすることによって多くの事業者の関わりが必要となる。

また、活用の急がれている町の膨大な森林資源の活用促進、再生につながる。このサイクルがSDGs

### コミュニケーションの場の充実を

#### 高橋議員

地域の活性化なくして町の活性化はないといわれている。現在の中山間地域は過疎を過ぎて、孤立化の状

態にあるともいわれている。このように人的資源の減少している現状にあっての地域の活性化のためには、住民力の向上を図らなければならぬ。

コミュニティの核としての集会所がそのための重要な役割を担っているが、劣化が進み改築を要するものが見受けられる。しかし、今これを賄うだけの体力はほとんどこの地区にはない。このことは、地域の衰退そして崩壊へとつながっていく。

地域の活性化なくして、町の活性化がなければ、地域の住民力の向上、地域の活性化のためのコミュニケーションの場の充実は欠かせないものであり、全面的に行政が用意するべきでは。

#### 尾崎管財契約課長

集会所の位置づけは、町としても地域のコミュニティづくりや文化活動の拠点として、地域の活性化を図るうえで欠かせないものと考えている。

町有施設であり、地区で管理を行っている集会所については、修繕などへの要望が多くなっている。

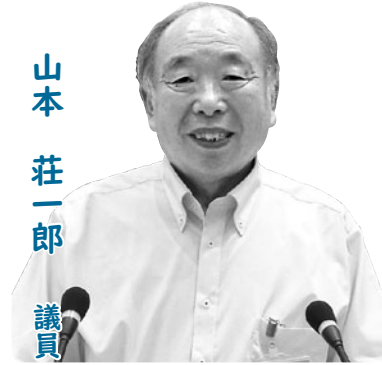
町としては予算確保に努め、緊急度の高い箇所から順に対応するとともに、昭和56年以前に設計・建築した施設について耐震調査や耐震化工事を優先的に行っている。

トイレの洋式化、バリアフリー対策なども地区と相談しながら順に行っている。

地区に整備している集会所が、今後も地域のコミュニティの核となり、地域の活性化、コミュニケーションの場として継続して活用できるように、地区と協力して対応する。

# デジタル化の入り口、スマホ購入補助を

## 答弁II スマホ普及には操作を学べる教室を



山本 庄一郎 議員

ル化の入り口である。便利で手軽なサービスを提供すれば高齢者もスマホを使う。

スマホ普及へ手をこまねいてはならない。積極的な普及対策として、スマホ購入に補助金制度が必要である。

少子化が進む状況下で「いの町」の存続と未来を考えるならば、デジタル化の推進が必要である。住民が住み慣れた地域で快適に暮らすには、誰一人取り残さないデジタルDXによる豊かな生活が実感できる体制づくりが急がれる。

デジタル化が進めば、防災・行政放送や閲覧板、ゴミの種類別収集日の地区別周知、役場への問い合わせ・要望なども具体的で双方向的なものとなる。スマートフォンはデジタ

タル化を行ってきた。

スマホ購入補助については、携帯電話事業者への顧客情報の照会が困難であり、補助の適合条件の判断に課題があることから考えていない。

スマホ普及においては、基本的な操作などを学べるスマホ教室をイベントで実施するなどを検討する。

### 賃金減が少子化に

#### 山本議員

働く人たちの実質賃金が増えなくなった約30年前から、少子化に歯止めがかからない。内閣府の調査では20歳から40歳の男女の7割が結婚を望んでいる。結婚しないのではなく、結婚できないのである。

30年前の国民生活白書には、結婚できない理由を「経済的な不安と将来的な見通し」が未婚の課題だとの確に指摘している。

国や自治体に求められているのは、普通に働ければ普通に生活でき、結婚を望

むことのできる全国一律の最低賃金の創設である。

会計任用職員などの非正規労働者を増やしてきたことは、結果において少子化対策と逆行している。

知事は、市町村と方向性を合わせて連携していくと表明したが、町は従属的ではなく有効な施策をどのように描いているか。

#### 筒井総合政策課長

経済的な事情で結婚に踏み切れないカップルに対して、新婚生活応援補助金や創出を進めている。

町は、結婚・妊娠・出産・子育て、仕事と育児の両立などのライフステージに応じた切れ目のない対策を進めてきた。

人口減少を抑制するには人口流出を防ぎ、生産年齢人口の転入を図り、当町の手厚い子育て支援策の対象者を増やせば、出生数の増加で少子化対策につながるかと考えている。

県と連携しつつ、提案や要望も行い主体的に進める。

### 申告主義の課題に

#### 山本議員

困ったとき、追い詰められたときに、頼れるのが役場でなくてはならない。日本の社会保障制度や福祉制度のほとんどは申告主義である。知らないと利用することができない。「困ったときに役場に相談する癖を町内に醸成する体制」は十分か。

#### 金子ほけん福祉課長

人口減少、高齢化、担い手不足、ひきこもりや生活困窮、虐待といった深刻な問題も起こっていて、自助、共助、互助、公助が十分でないケースもある。

今までの支援サービスを生かし「複雑化・複合化したニーズ」に対応する重層的支援体制の整備に取り組み、地域共生社会の実現を目指す。

住民福祉や行政サービスに完成はなく、その意味では改善点もある。

## 永田町政治と町行政

質問Ⅱ現存する半面政治に見解は  
答弁Ⅱ説明責任こそ重要



山岡 勉 議員

自民党国会議員の「政治とカネ」が、政界を激震させている。

医療・介護、教育政策などが、こういう政治家たちの主導で進められてきたことに憤りを禁じ得ない。

町行政は、こんな永田町政治とは一線を画し「倫理性・透明性」を基軸として、課題に直面したときは速やかに議会に報告するなど、今一層の透明性を求めるが見解は。

### 池田町長

「行政の公平性・公正性・

「透明性」を公約に掲げており、説明責任こそ何よりも重要と認識している。

報告すべき課題などに直面したときは、速やかに議会に報告することを心がけていく。

## 南海トラフ巨大地震対策

質問Ⅱ攻めの住宅耐震化を  
答弁Ⅱまず70%到達を目標に

### 山岡議員

元日の能登半島地震は、日本中を震撼させた。今、防災意識は高まっている。

阪神淡路大震災では、犠牲者の80%が家屋の倒壊による圧死とのこと。

現時点の町の耐震化率は67%と決して高くない。

町の非耐震住宅は3010棟あり、攻めの耐震化に踏み出すべきではないか。

また、地震時の火災によ



## 学校給食無償化

質問Ⅱ少子化・人口減少対策の観点で一步は  
答弁Ⅱ国の動向を注視していく

### 山岡議員

年間6000万円の財政負担は大きく重い。

視点を変えれば、年間6000万円分の子育て支援、保護者負担軽減となる。

温かい政策は児童・生徒・保護者に届くことになり、

将来、町で住もうという思いの醸成につながれば、計り知れない事業効果を生む。

出生数にも反映されるのではないか。

町の主体性で一步を踏み出すときだ。

る犠牲者対策として、感震ブレイカー設置補助制度を創設すべきではないか。

### 土居総務課長

現在、町国土強靱化地域計画に年間50棟の耐震化を掲げており、令和9年度末に70%を目標に進めている。

また、耐震診断を行って、改修に至っていない人について、各自主防災組織によ

### 宮脇教育次長

少子化・人口減少対策は、重要と捉えている。

町は令和6年度も、物価、食料高騰分について、保護者に負担を求めない方針で対応することとしている。

町としては、無償化には国費が必要と考えており、最近では国会などでも議論されているようなので、国の動向を注視していく。

## 特色ある奨学金返還支援制度実施を 答弁② 一般枠・一般地域枠・特別枠・特別地域 枠と特色ある4つの枠を設け実施する



井上 敏雄 議員

奨学金を受給している者すべてを、補助対象とするのは財政的にも困難であり、特別枠など特色ある支援制度を目指すべきでは。

### 池田町長

特色ある奨学金返還支援  
① 一般枠は、大学を卒業後町に在住しての就業者。② 一般地域枠は、一般枠に該当し吾北・本川両地区に居住、もしくは就業者。③ 特別枠は、一般枠に該当し医療・福祉分野の資格を有している就業者。④ 特別地域枠は、特別枠に該当し吾北・本川両地区に居住、もしくは

は就業者。

いずれの枠も大学等を卒業後は、町に在住し継続して10年以上定住する意思がある者を対象とする。

補助対象期間は交付対象となった、最初の年度から起算して10年間を考えている。補助金額は申請する年度の前年度中に返還した奨学金の額とする。

ただし、1人の者が受けられる1年度当たりの補助金の上限枠を設ける。年額上限は①一般枠12万円。②一般地域枠・③特別枠共に24万円。④特別地域枠36万円とする。

### 伊野幼稚園

#### 認定こども園化を

### 井上議員

令和6年度は、幼稚園児14人・保育園児65人の予定で格差があり、幼保の連携

が必要だ。さらに、3〜5歳児の幼児教育の重要性に鑑み、認定こども園化を目指すべきではないか。

### 黒瀬教育長

教育委員会は、就学前教育から小学校教育へスムーズに移行するには、就学前の幼保の連携は大変重要であると認識している。

現在、町内唯一の公立伊野幼稚園として魅力化を図るとともに、今後の入園児数の動向を注視しながら、園の運営の方向性や、伊野小学校区における認定こども園設置の可能性などを検討していく。

### 独居者対策や

#### 終活への啓発を

### 井上議員

令和4年の65歳以上の単身世帯は67万世帯であり、5人に1人が独居者である。対策強化を急ぐ。

### 金子ほけん福祉課長

地域包括支援センターで

は、高齢者本人や家族などの相談に、ケアマネージャーなどの専門職が、不安や心配事などに対応している。

終活への啓発には、今年度はエンディングノートを作成し、希望者へ無料配布をしている。

### ボランティア活動 交通費などの助成を

### 井上議員

活動拠点までの公共交通の不便性や、免許証返納者などが通勤費に苦慮している、助成をすべきだ。

### 金子ほけん福祉課長

令和6年度から「ボランティアポイント事業」の導入を図る。事業概要は、介護施設などのボランティア活動への参加で、ポイントを与え、貯まったポイントに応じて商品券などで還元することで、さまざまなボランティア活動に対する助成事業としていく。社会参加活動を通じ、町

民の健康増進や介護予防、子ども食堂など、世代を超えて交流し支え合う、まちづくりを目指す。

### 災害発生後の

#### 命の水源確保を

### 井上議員

水、供給施設対策を。

### 川村上下水道課長

令和4年度末の耐震化率は、配水本管52.1%。配水管56.7%である。また、配水池の耐震化率は88.3%。取水施設の耐震化も順次図っている。

災害時の緊急給水用は、北山・音竹両配水池に緊急遮断弁を整備し、発災後3日間に必要な飲料水を確保できるようにしている。

### その他の質問事項

- ・ 大地震対策強化をすべき
- ・ 休耕地対策に市民農園化
- ・ 県と連携した中山間対策
- ・ 女性安心の避難所対策を
- ・ 高性能林業機械の導入を
- ・ 食品衛生法への対策

## 食品衛生法改正に伴う弊害

質問Ⅱ個人事業者の負担軽減を  
答弁Ⅱ広く声掛けをして全力で支援する



筒井 一水 議員

食品衛生法改正に伴い、衛生許可制度の見直しで漬物や加工品を出している高齢者は、今さら施設を改修してまでできない人もいます。

このような高齢者に行政として手を差し伸べることはできないか。

### 尾崎産業経済課長

町では、道の駅などの直販所へ加工食品を出荷されている業者に対しては、講習会を開催し、制度の周知を図ってきたところであるが、自宅で製造を行っている

る事業者を中心に営業許可の取得が進んでいない状況である。

小規模業者や高齢者が生産した漬物などは個々にファンがあり、生産者の楽しみや生きがいもなくなさないように、総合支所とも連携を図り全力で支援していく。

## 独居老人の見守り 町としての対応

### 筒井議員

町では、65歳以上の独居者が1750世帯いると聞く。中山間地域では隣近所がなく単独で生活している人が多くいる。独居世帯の見守りをどのようにしているのか。

### 金子ほけん福祉課長

令和3年5月に日本郵便株式会社と包括連携協定を締結している。

この協定では、日頃から地域住民と接する機会の多い郵便業務の中で、高齢者、障がい者、子ども、その他の住民などの異変に気付いた場合に情報提供などの取り組み事項が定められている。

その他の取り組みとして、高齢者の自宅に緊急通報装置を設置、低所得のひとり暮らしの高齢者に電話を貸与し、孤独感を和らげるとともに、安否確認・緊急時の対応を行う、老人福祉電話設置事業を実施している。

## 仁淀病院について 質問Ⅱ事務長不在、 任命責任は 答弁Ⅱ任命責任については痛感している

### 筒井議員

仁淀病院の事務長は、実質令和5年の9月より不在になっている。

そして、令和5年12月で事務長補佐も退職した。令和6年1月には、新しい事務長が任命されたが、体調を崩して1月4日から今まで出勤していない。町長の任命責任はないのか。

### 池田町長

事務長については、令和6年1月4日に出勤したが体調不良で病休になっている。

事務長は財務にも詳しく、また、病院経営にも精通していて知見豊富なことから任命した。今回のことでの任命責任については、痛感している。



## ウネ沢橋架け替え（枝川地区） 質問Ⅱ架け替えの予定は 答弁Ⅱ令和6年度に設計に着手する



浜田 孝男 議員

遅れているウネ沢橋架け替えは、現在実施している床上浸水対策特別緊急事業完了後に着工を目指しているが、架け替えの予定は。

### 尾崎土木課長

県より「令和6年度に施工方法を検討するための設計に着手・令和7年度に家屋事前調査・令和8年度より架け替え工事に着手する」と聞いている。  
架設位置は、現仮橋の下流となる宇治川合流部を予定しており、橋長26m・幅員3.0mで一般車両の通行は

できないが、歩行者などで行うことができる。



天神ヶ谷川に架かるウネ沢橋仮設橋

### 地震による液状化対策

#### 浜田議員

①町による液状化対策は。  
②個人財産の対応は個人か。また、個人による液状化対策は。  
③被災した場合、個人の財産への補助金などは。

#### 土居総務課長

①住民への啓発の取り組みとして、平成25年に作成した「地震防災マップ」の中で、液状化による危険性の把握を目的に、地形区分や過去の地質データに基づく「液状化マップ」を作成し配布を行っている。これまでも地域の防災学習などを通じて、液状化の可能性が高いと想定される地域と一緒に確認し合い、土地利用を行う際の入念な調査の必要性や、建物・地盤対策の検討に液状化マップを利用してもらっている。  
②基本的には所有者個人が対応を行うものだ認識している。

住宅における個人での事前対策は、建築物の形状や地盤の性状により有効な工法は異なるため、建築士など専門家の協力を得たうえで、液状化被害を最小限に食い止める対策を検討することが必要だと考えている。  
③現時点では、県や町では地盤強化など液状化の発生そのものを抑える対策への

補助事業は実施していない。今後、令和6年度に県が、

能登半島地震の課題を踏まえ、南海トラフ地震対策の強化を図るための基礎調査を実施することとなっているので、どのような対策が検討され見直されるか注視し、町も効果的と思われる対策は提言していく。

### 中山間地の 道路通行止め

#### 浜田議員

例えば、令和5年に被災した中追地区の町道の通行止めは、約1年間になると聞くが、長すぎる。早期の復旧に取り組む努力を。

#### 尾崎土木課長

特に中山間地域の生活に直結した重要な町道などは、被災箇所における地域の実情も踏まえ、今後早期の機能回復を図るため、国庫負担の事業の実施も関係機関と事前に協議し最善策を講じていく。

### 住宅用太陽光発電 設備等導入補助金

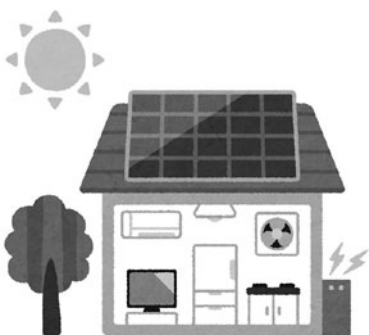
#### 浜田議員

予算が令和5年度比9倍。大幅な補助金の増額の理由は。

#### 筒井総合政策課長

令和5年度は、受付開始から1か月ほどで予算枠の上限に達したので、令和6年は大幅に増額をした。

また、蓄電池の補助単価が2万円から4万円に、補助上限も40万円に引き上げられるとともに、V2H（電気自動車から家庭へ電力供給）充放電設備も新たに補助対象とした。



## 「議会だより いの」表紙などに掲載する写真を募集します

応募資格：いの町在住の方

注意事項：撮影場所はいの町内

白黒・カラーとも可

オリジナルの未発表のもの

締め切り：1月、4月、7月、10月の5日

応募方法：メールによる応募

[gikai@town.ino.lg.jp](mailto:gikai@town.ino.lg.jp)

詳細はいの町議会ホームページをご覧ください



桐ヶ平のしだれ桜（枝川）

「議会だよりいの」は、  
資源保護のため再生紙  
を使用しています。

発行

高知県いの町議会

TEL 088-893-1134

FAX 088-893-1125

発行人 議長 筒井 公二

編集 議会広報特別委員会

印刷 (株)高知新聞総合印刷

## 議会を傍聴してみませんか

町民の皆さまの暮らしにかかわる施策などが決められる大切な議会です。

6月定例会は、6月初旬にいの町役場本庁舎で開催の予定です。

皆さまのご意見をお寄せください

TEL 088-893-1134 FAX 088-893-1125

Eメール [gikai@town.ino.lg.jp](mailto:gikai@town.ino.lg.jp)